

平成29年度 狛江市地域包括支援センター事業計画書

事業名：地域包括支援センター独自の取り組み（あいとぴあ）

平成29年度の課題及び方向性

平成29年度においては、機能強化型地域包括支援センター（以下、機能強化型）の受託が2年目を迎え、他機関からの相談も増えてきている。その中で、地域型の地域包括支援センターとしても、職員のスキルアップを目指すべく、研修参加も行い、対応に関するノウハウを高めていきたい。

昨年度配置された生活支援コーディネーターと協働して、新たに地域型地域包括支援センターに配置される「介護予防による地域づくり推進員」との連携を進めていくことで、社協の強みを活かした展開を目指します。

事業財源(支出状況・法的根拠)

介護保険法

事業目標

- 1 既存の自治会、町会、担当地区民生委員との連携強化
- 2 生活支援コーディネーターと介護予防による地域づくり推進員とのネットワーク構築
- 3 介護予防普及啓発事業及び家族介護者教室の効果的な展開
- 4 介護者の集いの効果的な運営

事業計画の詳細

1 既存の自治会、町会、担当地区民生委員との連携強化

既存の担当エリア内のサロン活動団体との連携を基盤にしなが、エリア内の地域の連携と新たな人材の育成が進む取り組みを検討して行きます。

担当地区民生委員に対しては、隔月行っている懇談会において、関係性を確立することができている。今後も定期的な懇談会を通じ、密な連携を取っていく。

2 生活支援コーディネーターと介護予防による地域づくり推進員とのネットワーク構築

昨年度より配置された生活支援コーディネーターと新たに地域型地域包括支援センターに配置された地域づくり推進員とで定期的に打ち合わせを行い、地域の介護予防活動の促進と地域が主体となった生活支援の取り組み検討を進めます。

3 効果的に介護予防普及啓発事業及び家族介護者教室を展開する

- (1)月2回（6回コース）×2クール 体操教室
- (2)全6回 認知症予防教室（事前事後評価に脳の健康度調査ファイブログ実施）
- (3)月1回 地域の集会室において体操教室開催
- (4)月2回（全6回コース）脳トレも兼ねた体操教室開催
- (4)家族介護者教室 年2回開催予定。

4 介護者の集いの効果的な運営

参加者が介護に関して知識を深められるようなものや、気分転換を図れるような講座を定期的に企画する。また、地域の方向けの認知症サポーター養成講座や地域のサロンなどで活動を周知していく。